

比例区

# 大島慶久総決起大会開催す



挨拶する大島参議

選挙区  
亀井郁夫・奥原信也候補  
激励会同時開催

大島よしひさ広島後援会総決起大会、奥原信也候補・亀井郁夫候補激励会が三月二十九日午後四時より「ホテルグランヴィア広島」において八百五十名の参加のもと盛大に開催された。

大会は、三戸斌士県歯連盟理事長の司会により谷本健二県歯連盟副会長の開会の辞で始まった。

主催者挨拶として、本山栄荘県歯連盟会長・大島よしひさ広島後援会会長は「おかげさまで後援会会員は四万三千余という数を獲得し目標を達成できました。これからはその精

度調査がありますのでよろしく御願ひ致します。広島選挙区の両候補につきましては自民党県連より推薦があり、連盟としてもぜひとも二人を当選させなければならぬという意気込みに燃えています。両先生とも歯科医療には格段の御配慮、御理解を賜っているの

人の先生方に当選戴いて歯科医療、歯科行政の為に御尽力戴きたいと思っております。間もなく選挙終盤、私共は連盟無くして明日は無いと思っております。御理解を賜りよろしく御協力戴きたい」と支援を訴えた。

続いて候補者挨拶に入り、広島選挙区の奥原候補が「大変厳しい選挙戦であるが、大島・亀井先生共々戦って行きたいと思っております。暖かい御支援、御力添えを賜りますようお願い致します」と挨拶



歯科界の結集を訴える本山会長

挨拶、次に亀井候補が「自民党の参議院における政権基盤強化の為に駒の一つにでもなればという思いで立候補させて戴いた。今一度広島県、国の為に役に立ちたいと思っております」と決意を述べた。

続いて大島参議院・比例代表候補が挨拶に立ち「夏の参議院選挙は七月十二日が有力な投票日になっている。是が非でも奥原、亀井両候補を先生方の御力で当選させて戴きたい。経済不況の中、かつては聖域と言われてきた医療界も全くの聖域では無くなってきている。私達がどういった医療系の中で国民に良質な歯科医療を提供出来るのか正に大変な時期を迎えている。今一番根っこの問題は歯科医師の需給問題である。組織代表として避けて通れないこの問題に対し、先生方が不利益を被らないよう努力していきたい。今回の診療報酬改定一・五%は、二年毎の時期がきたから当たり前に行われたということではない。組織をあげて選挙

万歳で盛り上がる広島会場



平成10年  
4月15日  
第88号

発行所  
広島県歯科医師連盟  
広島市中区富士見町11-9  
TEL (082)241-5525  
編集兼発行人 町里義治

だいにすれば永久歯、だいにしないと永休止。

Keep 25 teeth until you're 55

55歳まで25本の自分の歯をもちましよう。



決意を語る亀井候補



抱負を述べる奥原候補

に努力してきた、この結晶が今回の改定を呼び込むことが出来たことは事実である。手をこまねいては今回の改定はありえなかった。これからの日本歯科医療の行く末を同じように悩み、努力しながら国会活動の中で頑張らせて戴きたい」と支援を訴えた。

次に大西定県歯連盟常任理事による祝電披露、富田民也県歯連盟相談役による万歳三唱で大きく盛り上がった中、佐藤孜県歯連盟副会長の閉会の辞で大会は盛会裡に幕を閉じた。

## 福山会場でも盛大に開催

—大島よしひさ広島後援会総決起大会、  
亀井郁夫候補・奥原信也候補激励会—

三月二十九日(日)、広島会場に先立ち午後一時より、福山ニューキヤッスルホテル「薔薇の間」において、標記決起大会が盛大に開催された。

当地ではあいにく亀井郁夫候補本人が日程の都合によりやむを得ず欠席され、代理として川上征矢秘書にお越し戴いた。

出席者は最終的に四百名近くに上り、東部地区会員の意気大いに揚がる有意義な決起大会となった。



候補者を囲んで



熱気あふれる福山会場



支援を求める大島参議 (福山会場)



# 第二十回広島県歯科医師連盟

## 評議員会開催さる

本山新体制が発足して一年がたち、七月の参院選は比例代表区が大島慶久、広島地方区が亀井郁夫・奥原信也氏に推薦決定した。  
また、平成十年度事業計画案と予算案が原案通り承認可決された。

平成十年三月二十八日(土)午後四時より、県歯会館六階「ハーモニーホール」に於て、第三十回評議員会が開催された。



挨拶する本山連盟会長

氏の進行の下、議事録署名者に広島県の土江健也氏と呉の灘田義治氏を指名した。  
本山会長より「早いもので昨年四月に新執行部発足以来一年を経過した。平成九年度は誠に慌だしく、又、社会の混乱した年であった。四月には地域保健法の施行、九月に医療法の一部改正、十二月には介護保険法案の通過があった。バブルの崩壊かう金融不安や政治不安の中で財政構造機構改革が起きたが、全てが歯科の医療費抑制に繋がる現状だ。大島選挙の後援会名簿は四万三千名余の会員を獲得し、何とか面目を施した。しかし今回から精度アップが強く求められているので、対応をよろしく御願います。  
一方の広島選挙区は亀井郁夫・奥原信也両候補を県歯連盟として推薦を決定した。しかし各地区それぞれの事情があるので、各郡市の会の自主性に任せて支援を御願います。政治が全てを決める時代なので、歯科医師会の組織力が大事になる。連盟として、これからの地方分権行政を展望し、郡市会の政治活動には積極的に参画していく方針だ。これから引き続き御支援、御協力をお願いします」と挨拶があった。

- (1) 一般会務報告
- (2) 会計現況報告
- (3) 大島よしひさ後援会活動現況報告
- (4) 専決事項報告として、次期参院選広島選挙区に亀井郁夫氏と奥原信也氏を推薦し、東広島市長選に上田博之氏を推薦したと報告があった。
- (5) 日歯連盟関係報告として「昨日の日歯連盟評議員会に出席した。一月の自民党党大会で自民党の百五十八友好支援団体の代表として日歯連盟が表彰を受けた。井上議員は昨年の七月から歯科医師需要対策特別プロジェクトの副会長をされており、更に二〇%の入学者削減と国家試験の改革と保険医の定年制に取り組んでいる」と報告があった。

### 平成10年度事業計画

1. 基本方針
 

かつての政治活動は我々の生活安定という側面の強いものであったが、激動する社会情勢、経済情勢の中で歯科医師連盟組織が有機的に機能する為には国民の支持に裏打ちされた活動、すなわち医療保障を守ろうという方向での政治活動の構築が重要である。

加えて、地域保健法の制定により地方自治体と郡市地区歯科医師会とのより良い関係の構築が重要である。従って、地方での政治活動に対しても協力して行きたい。
2. 事業項目
  - ① 参議院選挙における本連盟推薦候補者に対する支援活動に関する事
  - ② 市町村議会、首長選挙における本連盟推薦候補者に対する支援活動に関する事
  - ③ 県議会、市町村議会並びに首長との連絡調整に関する事
  - ④ 各行政機関の医政問題に関する事
  - ⑤ 日本歯科医師連盟との連絡調整に関する事
  - ⑥ 各郡市会の連盟活動に対する支援に関する事
  - ⑦ 自由民主党職域支部、大島よしひさ広島後援会及び中原爽広島後援会の事業活動への協力に関する事
  - ⑧ 本連盟員の相互協力体制の確立と団結力の醸成に関する事
  - ⑨ 広報活動に関する事
  - ⑩ その他必要な政治的問題に関する事



第 30 回 評 議 員 会

